

# 核兵器のない世界の実現を 被爆者国際署名推進講演会

4月14日(日)、プラバホールで、被爆者国際署名推進講演会が開催されました。



被爆者国際署名推進講演会

冒頭、呼びかけ人を代表して、岡崎由美子氏が、ヒバクシャ国際署名を進め、核兵器禁止条約を批准する政府にしようと呼びかけました。

続いて、中国新聞ヒロシマ平和メディアセンター記者の金崎由美氏が、「記者から見た核兵器なき世界の実現」と題して講演を行いました。

金崎氏は、ヒバクシャ国際署名をすすめる上で理解しておくべき背景や情報に

関し、核兵器禁止条約の背景と意義について解説しました。そして、保有国と非保有国の橋渡しを理由に条約に反対する日本政府が、2009年のアメリカ政府への文書で、使える小型核の抑止力を求めていると指摘、表向きの態度と水面下の態度がまるで異なると紹介しました。小さい核とはヒロシマ型の3分の1の規模で、ヒロシマ・ナガサキの被害をもっと広める必要性を述べました。

最後に、「被爆者は日本だけでなく、世界中の核実験場で、今も若い世代が被曝していること、キノコ雲の下からの視点に立つて、ヒバクシャ国際署名を進め

よう」と訴えました。島根県民の会、徳永事務局長が署名推進を呼びかけました。

## 新庁舎建設計画 どこまで進んだか・橋祥朗

庁舎建設特別委員会は、1月8日に、基本計画、実施計画の業務委託が決定したことの報告を受けました。

委託相手は、石本建築事務所大阪オフィスと、小草建築設計事務所、矢野建築設計事務所の共同企業体です。石本建築事務所の提案が、松江らしさを表していると評価されました。

考え方やイメージ図は公表されています。実際の建物がこの通りになるとは限らないとのことですが、この提案をもとに詳細が検討

局長が署名推進を呼びかけました。

されます。

2月18日の特別委員会で、基本計画に関してこれまで交わされた委員会での意見のまとめが報告されました。また、議場レイアウト案、(1)これまで通り議長席が前で傍聴席は後ろ、(2)傍聴席を議場の横に設置する、(3)②案で議長席を傍聴席と向かい合うが提案され、会派による意見を集約することとなりました。

3月18日に、議場のレイアウトについて各会派の意見が表明され、①案を良しとする多数意見と、②案を良しとする意見も少数出ました。また、多目的利用ができるようにすることなどの意見が出ました。

また、庁舎建設に関しての二つの陳情が審査され、松江商工会議所より出された、地元産業の振興雇用の安定を図るために市内業者への発注への配慮を求める陳情が採択されました。

木材関連団体からだされた、木材の使用に関する陳情については、要望の内容を確認することが必要として継続審査となりました。外観だけでなく、具体的

## お知らせ

日曜版、4月28号と5月5日号が合併号として発行されましたので、「あたらしい松江」5月5日号を早めに発行しました。

## 明日を見つめて 新たな挑戦の決意

鳥取の三朝で共産党が開いた『集い』は「私、中学しか出ていないの」、社民党の元衆議院議員知久馬二三子さんの発言から始まりました。高学歴が当たり前という風潮の時代に、私も毒されていたのかと反省しました。短い期間

ではありましたが共に国会で働いてきた方の経歴を初めて知り尊敬の念を抱きました。三朝の「岡山大学惑星物質研究所」に勤務していた方が「朝鮮半島からの引揚者」で戦後の苦労を切々と話されました。地域の信頼が厚く各種役員をこなしている方。70歳代後半の女性は今でもゴルフを楽しんでいる方、補聴器が高額なこと、憲法改悪のことなど、アツという間に終わりの時間が来ました。6人の参加者すべてが私より高齢とい

中林よし子  
予定候補



う集いは初めてでした。統一地方選挙後半戦で鳥取県日南町にイターンで移住した新人候補の応援に行きました。候補者と一緒に回った80代の方は「何としても通さなければ」と屋外に出てきた人一人一人に腰を曲げながら歩いて声を掛けていました。私は思わず涙がこみ上げました。私が立候補決意した時、年齢のことを考えましたが「60はひよっこ、70、80働き盛り」と言っ自分も励ましてきました。私の行く先々でまさにその言葉通りの人々にお会いし一段と元気をもらっています。春爛漫、自然にも気力をもらっています。



## 哲学カフェ AI(人口知能)社会をどう生きるか

1部講演・AIで変わる労働と雇用  
講師 野田哲夫・島根大学教授

2部アトラクション・ヒロさんのマジックショー

日時 5月11日(土) 14時~15時30分

場所 教育会館4F・402号室

主催 社会科学研究会

参加費・1000円(ドリンク、資料代など)

問い合わせ 090-4899-5230 (駒沢)

な窓口の配置、地下駐車場が検討されるなど、今後具休化が進みます。経過報告や市民の声を聴く場が必要ではないかと考えます。